

県内の景気動向

概況（2023年11月）

景気は、緩やかに拡大している（3カ月連続）

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連は、消費マインドの高さと需要喚起策が奏功し、回復の動きが強まっていること、建設関連は資材価格が高止まりしているものの、民間工事は堅調な動きが継続しており、回復の動きがみられること、観光関連は、国内の旅行需要が引き続き高いほか、インバウンド客も増加傾向にあり、緩やかに拡大していること、総じて県内景気は緩やかに拡大している。

消費関連

百貨店売上高は、5カ月連続で前年を上回った。物産催事による集客効果やお歳暮ギフトセンターの開設などもあり、食料品を中心に好調に推移した。スーパー売上高は、既存店・全店ベースともに18カ月連続で前年を上回った。値上げによる単価上昇に加え、ブラックフライデーセールなどの需要喚起策が追い風となり、底堅い動きがみられた。新車販売台数は、新車の生産回復が鮮明となり15カ月連続で前年を上回った。家電大型専門店販売額（10月）は、3カ月連続で前年を上回った。

先行きは、物価高などにより引き続き不透明感はあるものの、消費マインドは底堅い推移が見込まれ、緩やかに拡大するとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、県、独立行政法人等・その他は減少したが、国、市町村は増加したことから2カ月ぶりに前年を上回った。建築着工床面積（10月）は、居住用、非居住用ともに増加したことから3カ月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数（10月）は、持家、給与は減少したが、貸家、分譲は増加したことから5カ月連続で前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事は減少したものの、公共工事は増加したことから、2カ月ぶりに前年を上回った。建設資材関連では、セメント、生コンはともに3カ月連続で前年を上回った。鋼材売上高は、出荷量が増加したことなどから前年を上回り、木材売上高は出荷量が減少したことなどから前年を下回った。

先行きは、資材価格などが高止まりしているものの、民間工事の動きが活発化していることなどから回復の動きがみられる。

観光関連

入域観光客数は、24カ月連続で前年を上回った。国内客は3カ月ぶりに減少し、外国客は14カ月連続で増加した。県内主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入全て24カ月ぶりに前年を下回った。主要観光施設入場者数は21カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は2カ月連続で減少し、売上高は3カ月連続で前年を上回った。前年同月に実施された全国旅行支援の反動はあるものの、国内外からの旅行需要が高いなか、各種イベントの開催などがあり好調に推移した。

先行きは、外国からの訪日意欲高いなか那覇空港発着の航空便の拡充があり、外国客も増加が見込まれること、また国内においても、引き続き高い旅行需要が見込まれ、緩やかに拡大するとみられる。

雇用関連

新規求人数は、前年同月比 7.2%減と 5 カ月ぶりに前年を下回った。製造業、卸売業・小売業では増加したものの、サービス業（他に分類されないもの）、運輸業・郵便業などで減少した。有効求人倍率（季調値）は 1.11 倍で、前月より 0.05 ポイント低下した。完全失業率（季調値）は 3.2%と、前月から 0.2 ポイント低下した。

その他

消費者物価指数（10 月）は、前年同月比 3.5%の上昇となり、26 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 3.5%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は 4.4%の上昇となった。

企業倒産件数は 4 件で前年同月から 2 件増加した。負債総額は 2 億 3,900 万円で、前年同月比 218.7%増となった。

りゅうぎん調査（2023年11月）

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2023.9－2023.11)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	5.3	8.2
(2) スーパー(既存店)(金額)	5.1	6.2
(3) スーパー(全店)(金額)	5.4	6.6
(4) 新車販売(台数)	6.1	13.5
(5) 家電大型専門店販売額(金額)	(10月) 3.5	(8-10月) 7.4
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	78.9	66.7
(2) 建築着工床面積(m ²)	(10月) 2.4	(8-10月) ▲ 6.1
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(10月) 15.3	(8-10月) 13.1
(4) 建設受注額(金額)	50.7	23.2
(5) セメント(トン数)	6.4	11.6
(6) 生コン(m ³)	14.4	12.8
(7) 鋼材(金額)	P 35.5	P 25.9
(8) 木材(金額)	▲ 0.5	4.8
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	11.9	25.6
うち外国客数(人数)	651.2	2,014.9
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P ▲ 7.3 (実数) P 57.4	(前年同期差) P 1.6 (実数) P 58.9
(3) " 売上高(金額)	P ▲ 2.4	P 11.3
(4) 観光施設入場者数(人数)	23.9	32.3
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 0.5	0.6
(6) " 売上高(金額)	1.4	4.9
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	▲ 7.2	▲ 0.4
(2) 有効求人倍率(季調値)	1.11	1.16
(3) 消費者物価指数(総合)	(10月) 3.5	(8-10月) 3.8
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 2	(前年同期差) 4
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(10月) 6.0	(8-10月) 2.8

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 2022年4月より家電卸売販売額から家電大型専門店販売額へと更改した。

(注3) ゴルフ場は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

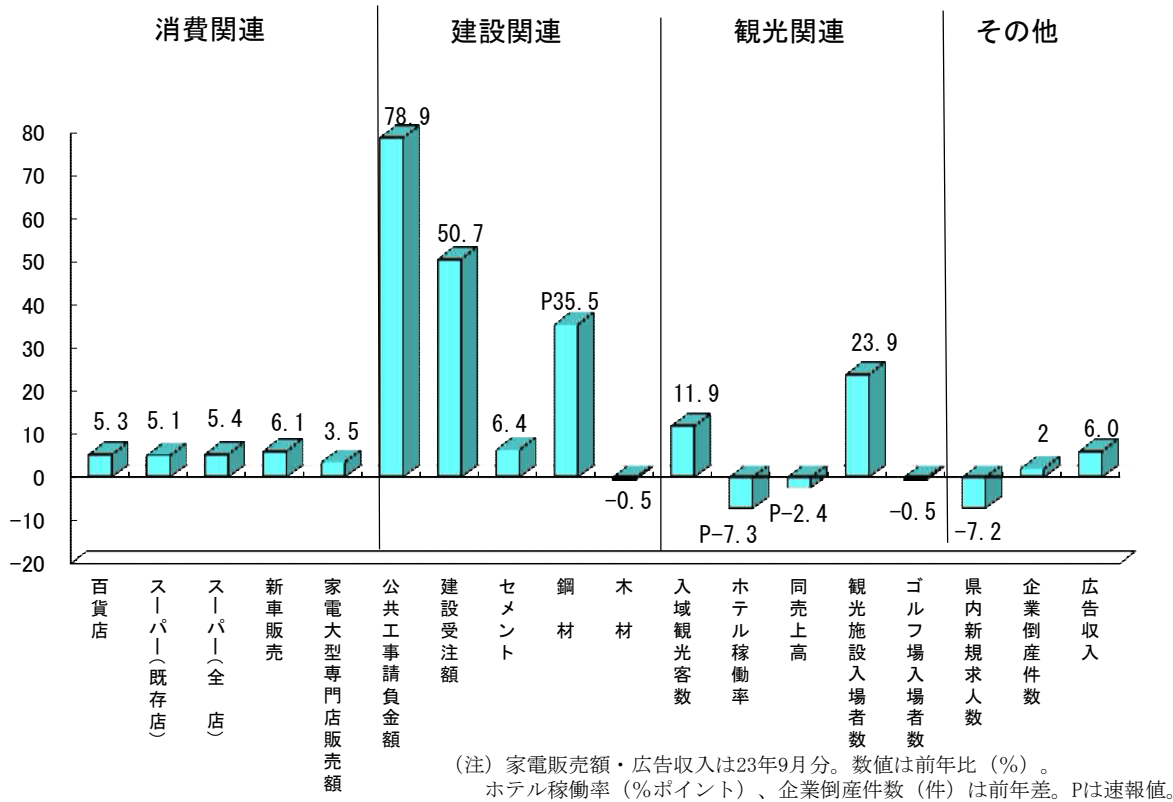
(注4) 主要ホテルは、2021年11月より調査先を28ホテルから27ホテルとした。

(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

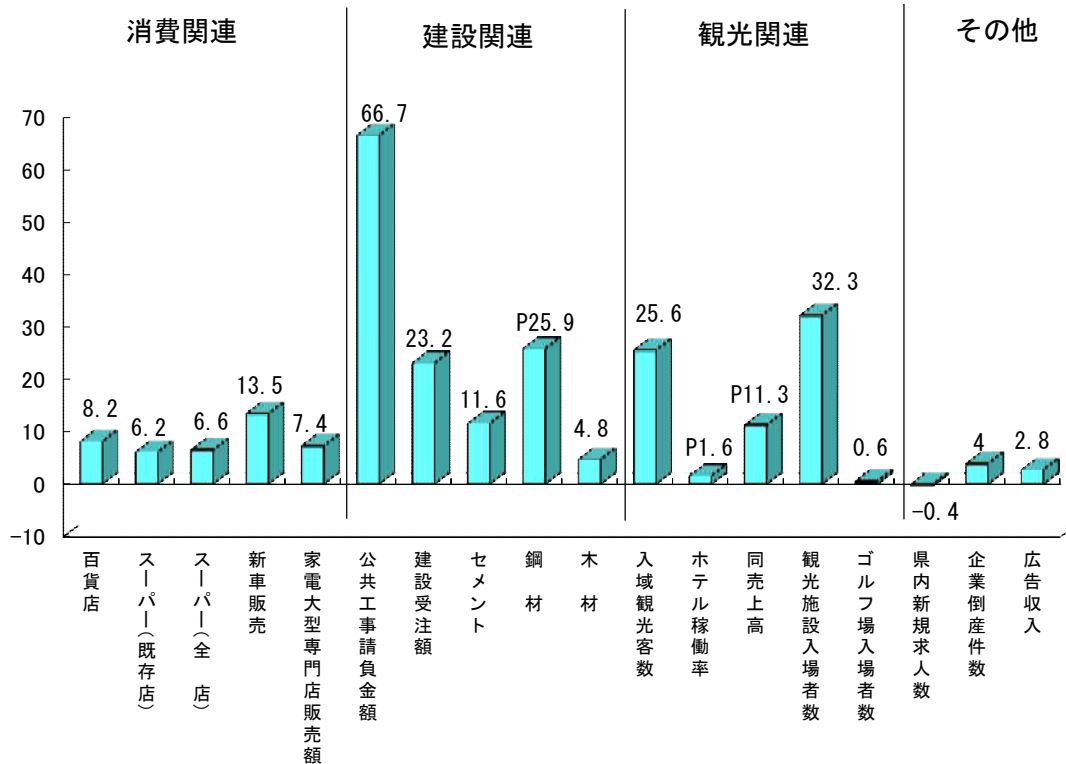
(注6) 建設受注額は、2022年12月より調査先17先のうち、一部更改を行った。

(注7) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2023年11月)

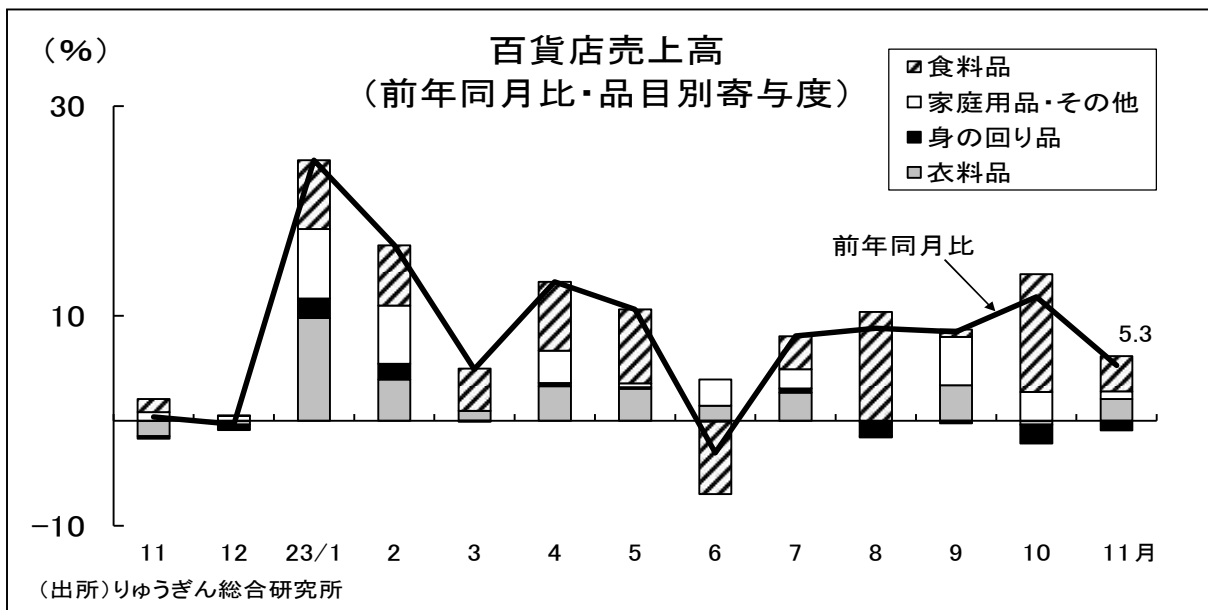


項目別グラフ(3カ月、2023年9月～2023年11月)



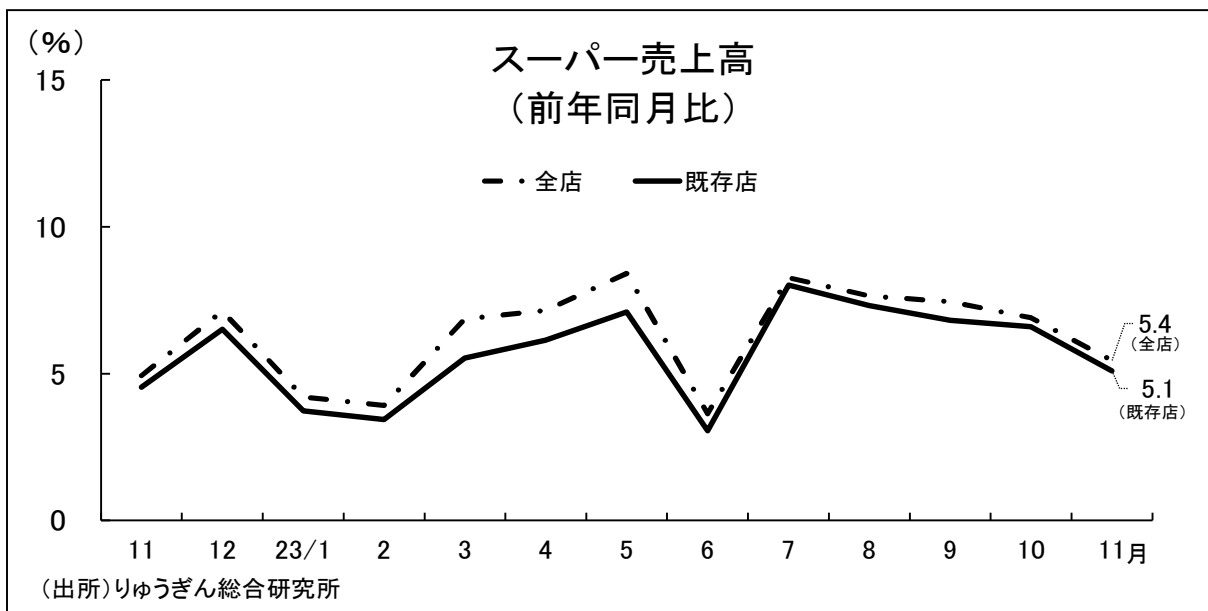
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：5カ月連続で増加



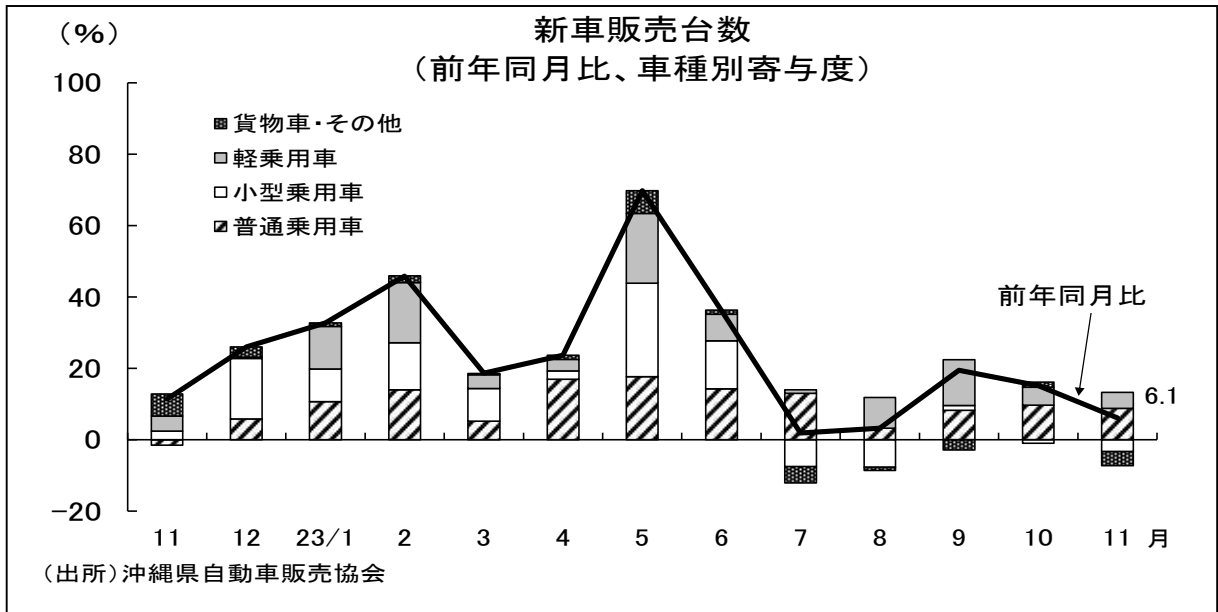
- 百貨店売上高は、前年同月比 5.3%増と 5 カ月連続で前年を上回った。
- 免税売上の伸び悩みがみられるものの、物産催事による集客効果やお歳暮ギフトセンター開設などもあり、食料品を中心に好調に推移した。
- 品目別にみると、食料品が同 9.5%増、衣料品が同 6.9%増、家庭用品・その他が同 0.7%増、身の回り品が同 11.9%減となった。

(2) スーパー売上高：全店ベースは 18 カ月連続で増加



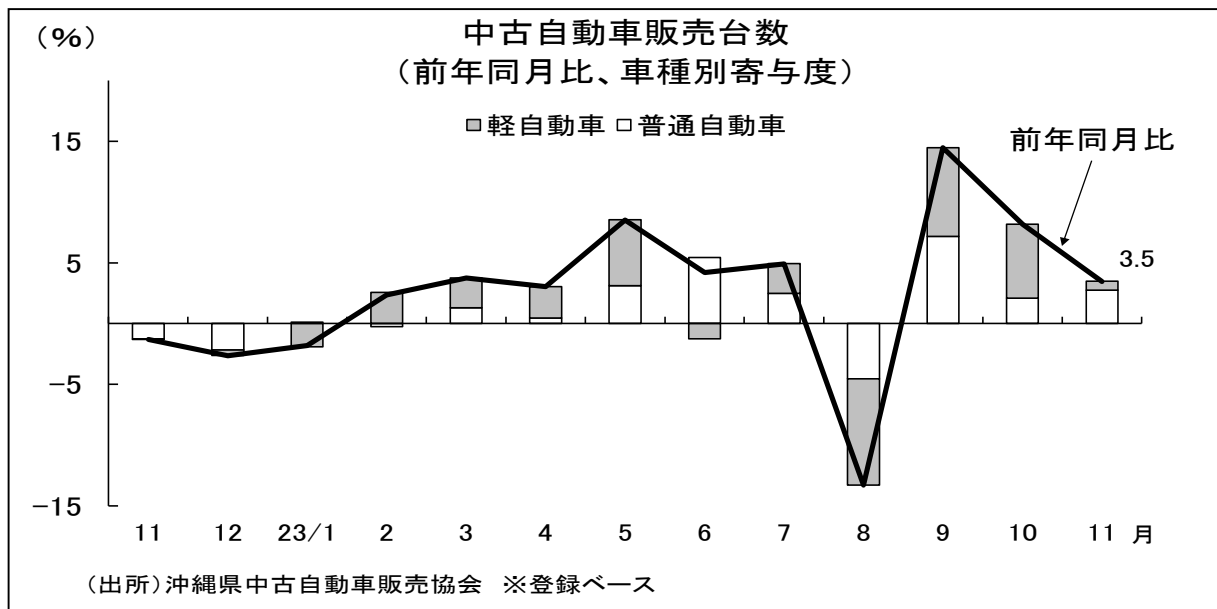
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比 5.1%増と 18 カ月連続で前年を上回った。
- 値上げによる単価上昇や、来店客数の増加などにより食料品を中心に売上が増加した。また、ブラックフライデーセールなどの需要喚起策が追い風となり、全体として底堅く推移した。
- 品目別にみると、食料品が同 5.0%増、衣料品が同 6.2%増、住居関連が同 4.6%増となった。
- 全店ベースでは同 5.4%増と 18 カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：15カ月連続で増加



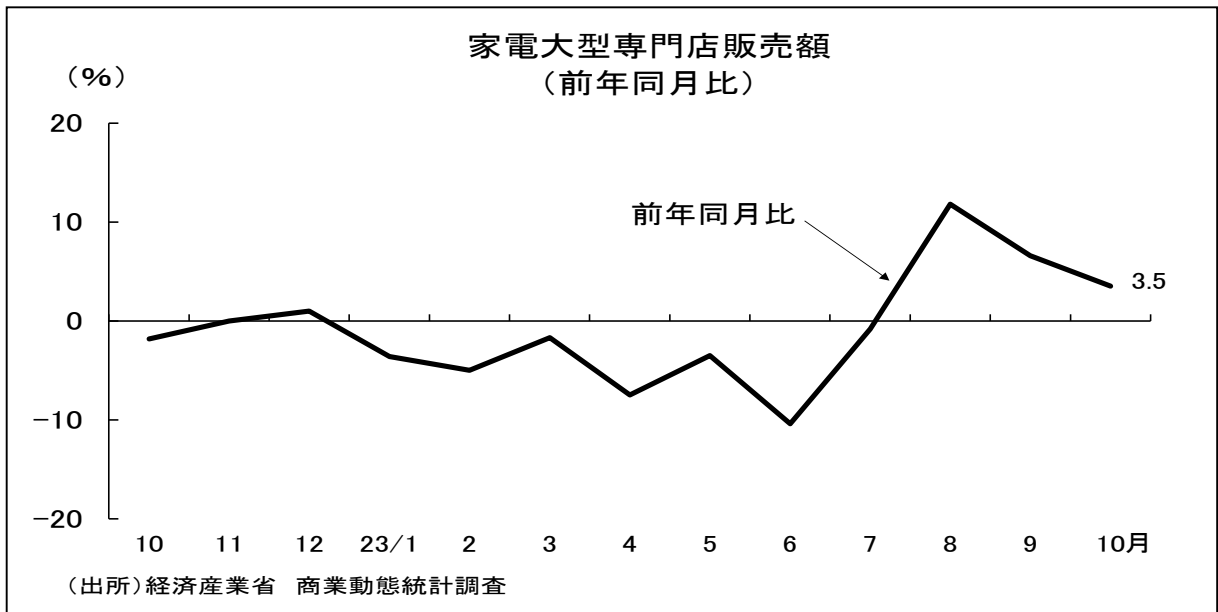
- ・ 新車販売台数は3,634台で前年同月比6.1%増と15カ月連続で前年を上回った。
- ・ 半導体不足等の供給制約が和らぎ、新車の生産回復が鮮明となるなか、自家用車を中心に販売台数が増加した。
- ・ 普通自動車(登録車)は1,581台(同12.2%増)で、うち普通乗用車は797台(同60.7%増)、小型乗用車は632台(同15.2%減)であった。軽自動車(届出車)は2,053台(同1.8%増)で、うち軽乗用車は1,654台(同10.3%増)であった。

(4) 中古自動車販売台数(登録ベース)：3カ月連続で増加



- ・ 中古自動車販売台数(普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース)は1万8,169台で前年同月比3.5%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・ 新車販売の回復が鮮明となり、中古車登録台数が増加したことなどにより前年を上回った。
- ・ 内訳では、普通自動車が7,362台(同7.0%増)、軽自動車が1万807台(同1.2%増)となった。

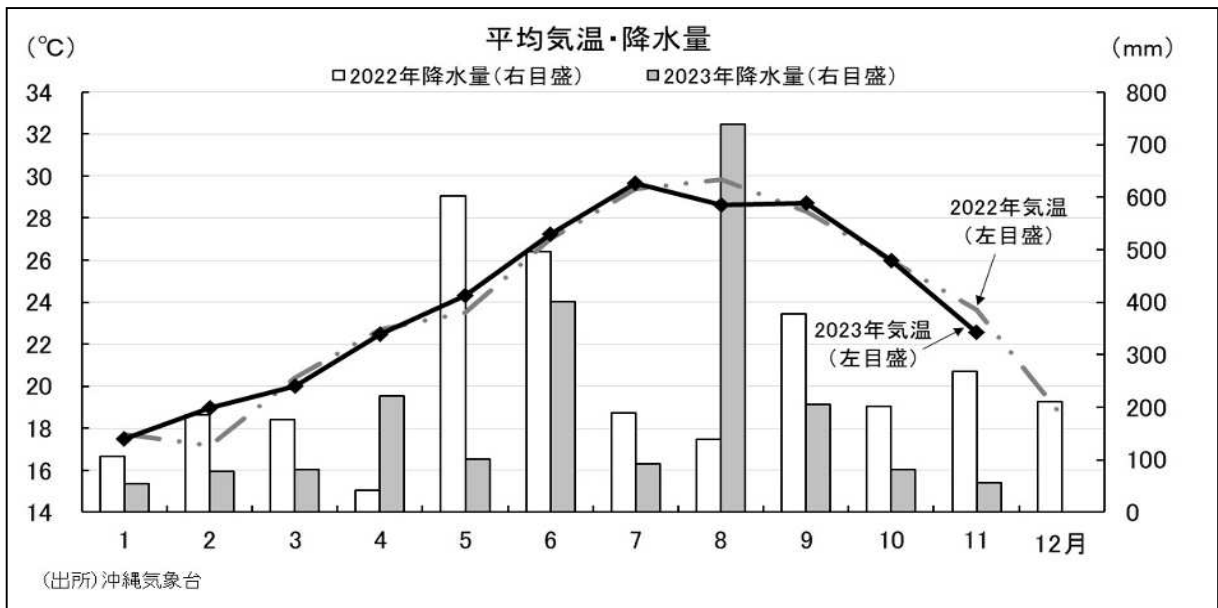
(5) 家電大型専門店販売額：3カ月連続で増加



- ・ 家電大型専門店販売額（10月）は、前年同月比3.5%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・ 来店客数の減少がみられたものの、値上げによる単価上昇などにより、前年を上回った。

(参考)

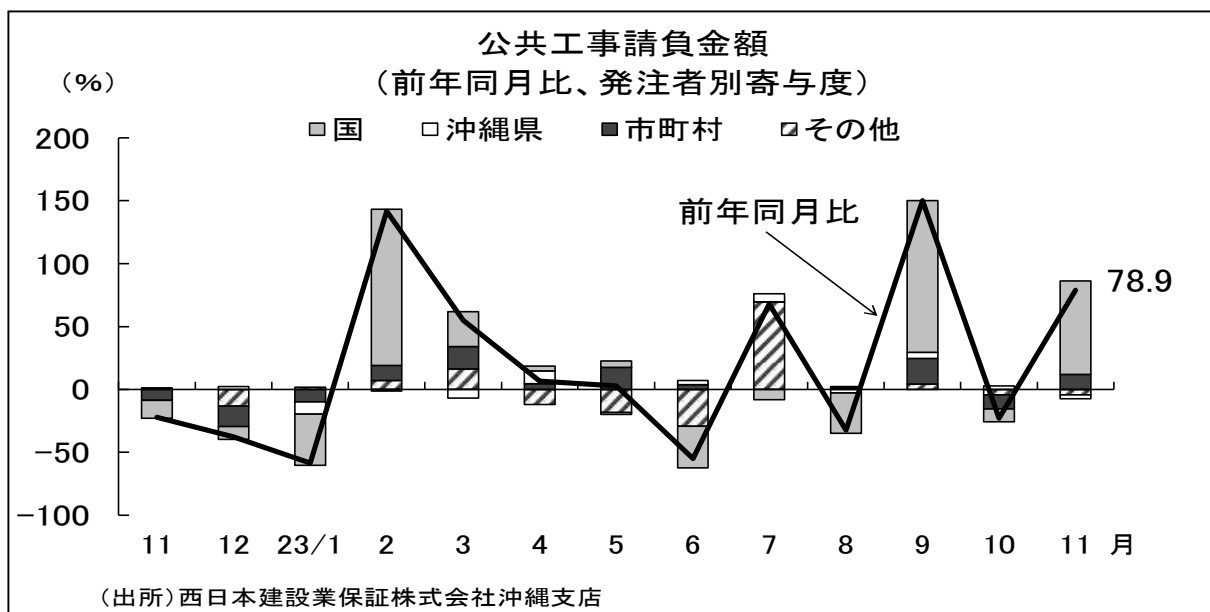
◇ 気象:平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は22.6°Cで前年同月（23.6°C）より低く、降水量は56.5mmで前年同月（269.0mm）より少なかった。
- ・ 高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、前線や大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日もあり、大雨や荒れた天気となった所があった。
- ・ 平均気温は平年並み、降水量は平年より少なく、日照時間は平年より多かった。

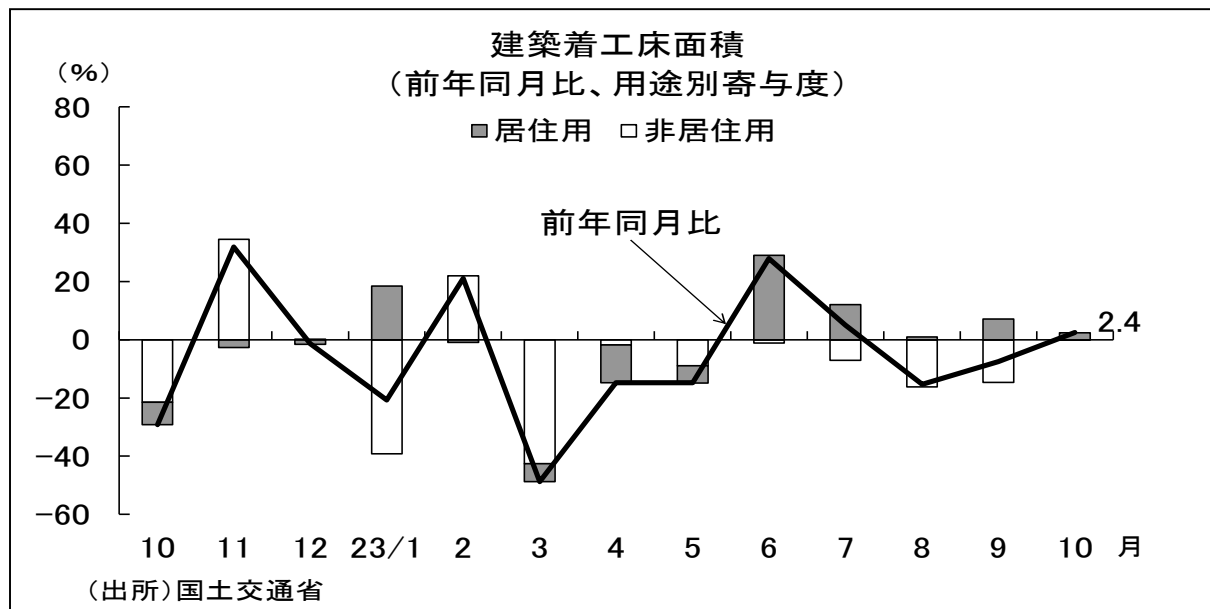
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：2カ月ぶりに増加



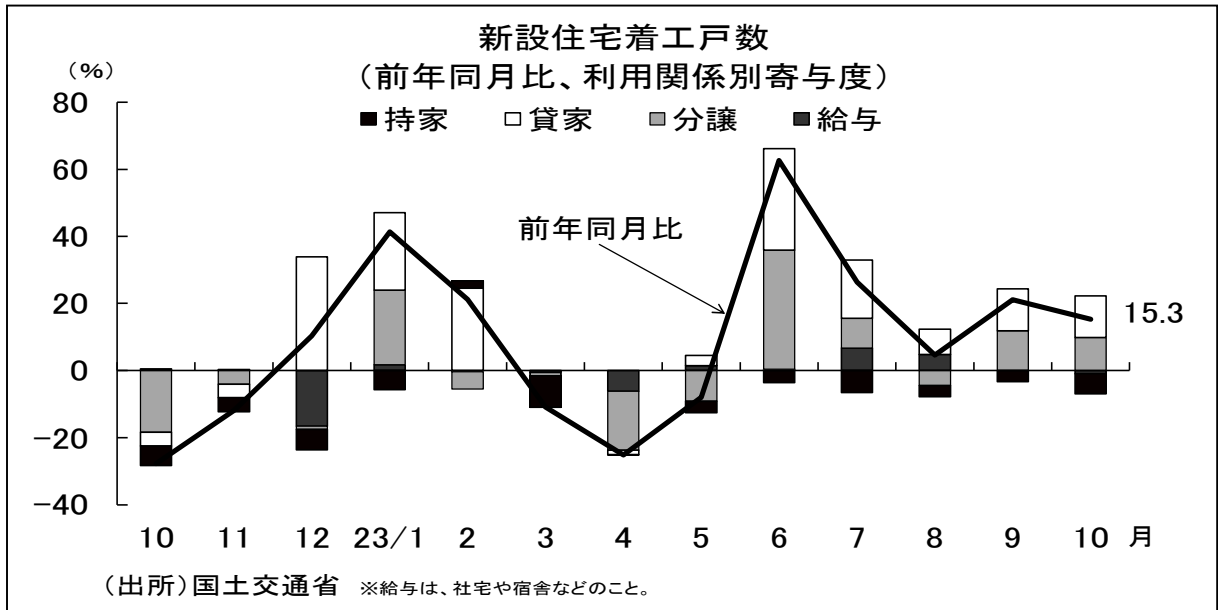
- 公共工事請負金額は、306億2,728万円で、県、独立行政法人等・その他は減少したが、国、市町村は増加したことから、前年同月比78.9%増となり、2カ月ぶりに前年を上回った。
- 発注者別では、国(同203.0%増)、市町村(同33.8%増)は増加し、県(同14.4%減)、独立行政法人等・その他(同61.7%減)は減少した。

(2) 建築着工床面積：3カ月ぶりに増加



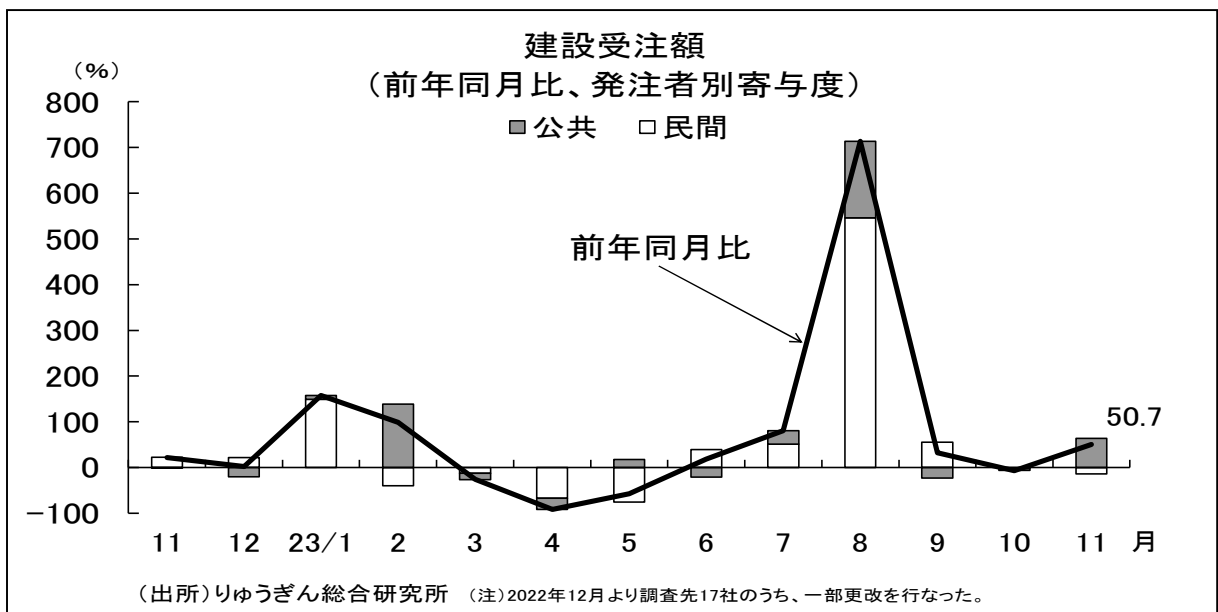
- 建築着工床面積(10月)は14万5,079㎡となり、居住用、非居住用ともに増加したことから、前年同月比2.4%増と3カ月ぶりに前年を上回った。用途別では、居住用は同6.1%増となり、非居住用は同0.0%増となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では、居住専用は増加し、居住産業併用は減少した。非居住用では、運輸業用や飲食店・宿泊業用などが増加し、教育・学習支援業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：5カ月連続で増加



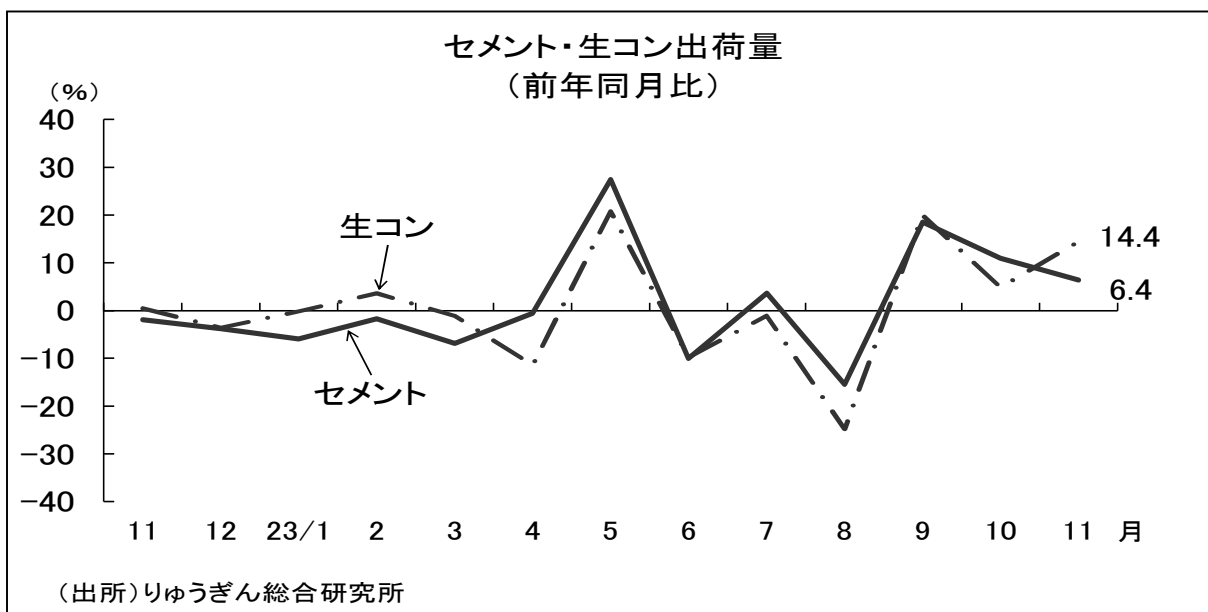
- ・ 新設住宅着工戸数（10月）は747戸となり、持家、給与は減少したが、貸家、分譲は増加したことから前年同月比15.3%増と5カ月連続で前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、貸家（393戸）が同25.6%増、分譲（170戸）が同60.4%増と増加し、持家（184戸）が同17.5%減、給与（0戸）が全減と減少した。

(4) 建設受注額：2カ月ぶりに増加



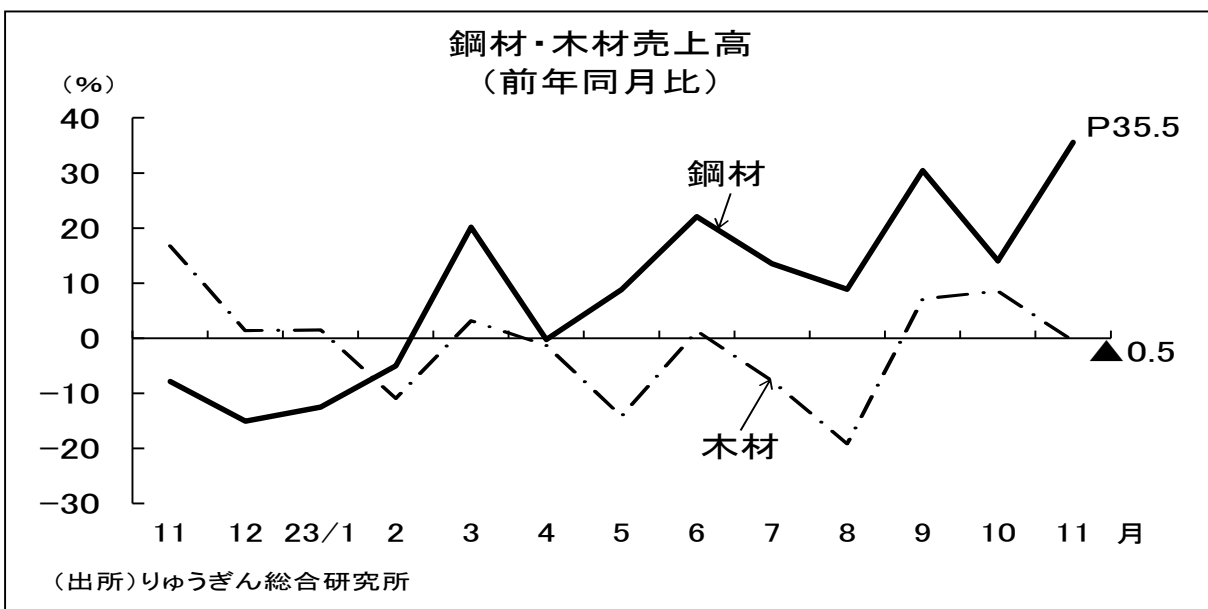
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社）は、民間工事は減少したものの、公共工事は増加したことから、前年同月比50.7%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事（同446.8%増）は3カ月ぶりに増加し、民間工事（同15.9%減）は2カ月連続で減少した。

(5) セメント・生コン：セメントは3カ月連続で増加、生コンは3カ月連続で増加



- ・ セメント出荷量は7万926トンとなり、前年同月比6.4%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・ 生コン出荷量は12万1,910 m³で同14.4%増となり、3カ月連続で前年を上回った。
- ・ 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、防衛省向けや海事工事向けなどが増加し、一般土木向けなどが減少した。民間工事では、貸家向けや分譲マンション向けなどが増加し、社屋関連向けなどが減少した。

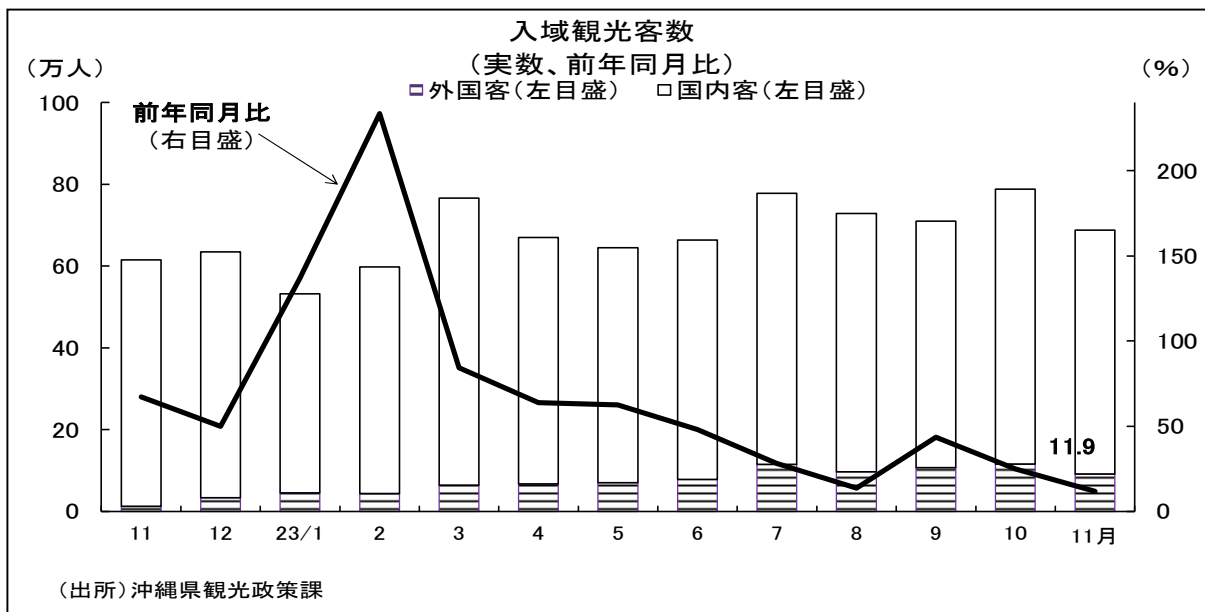
(6) 鋼材・木材：鋼材は7カ月連続で増加、木材は3カ月ぶりに減少



- ・ 鋼材売上高（速報値）は、出荷量が増加したことなどから前年同月比35.5%増と7カ月連続で前年を上回った。
- ・ 木材売上高は、出荷量が減少したことなどから同0.5%減と3カ月ぶりに前年を下回った。

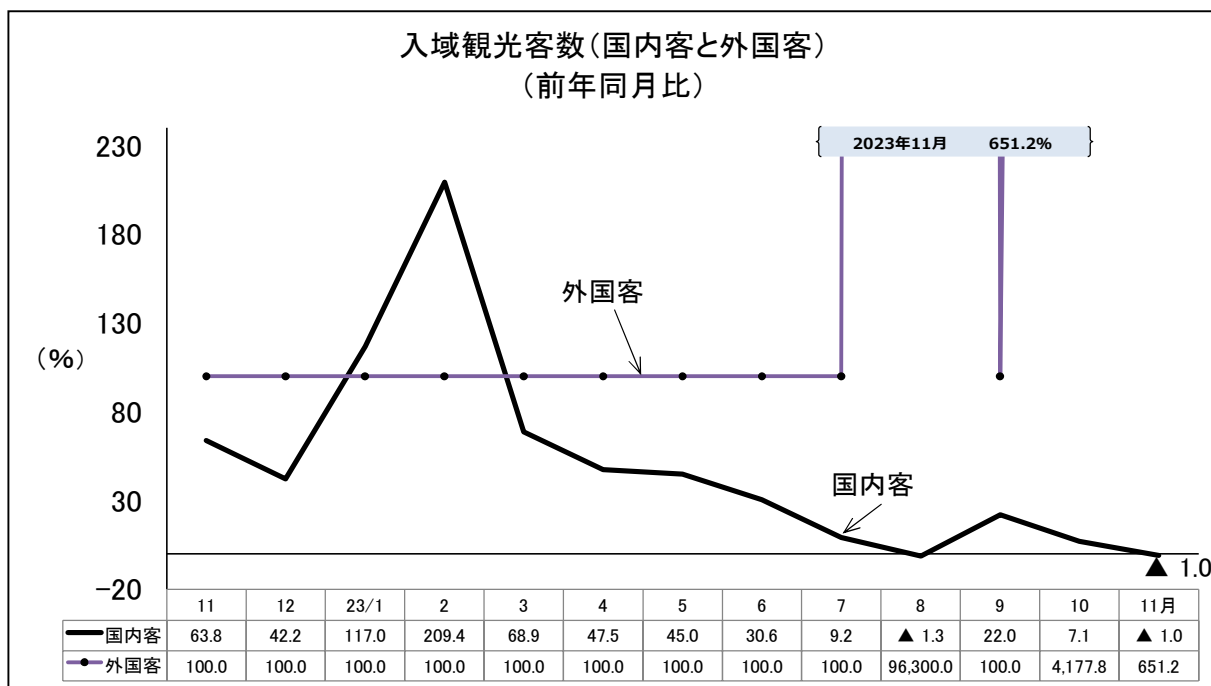
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：24カ月連続で増加



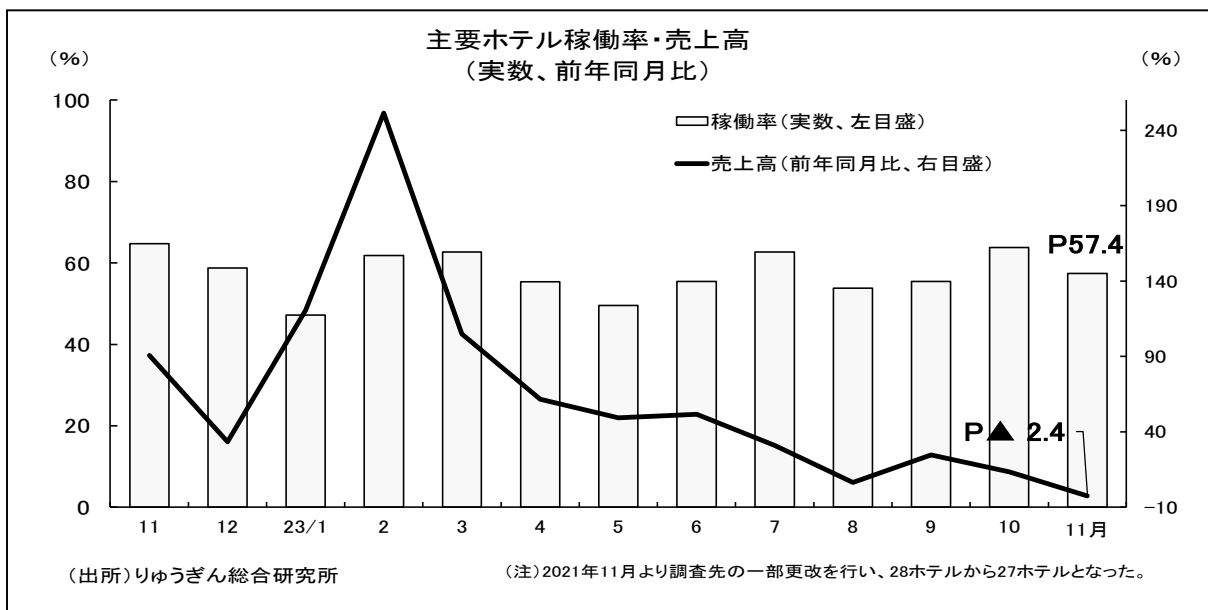
- 入域観光客数は、68万8,000人（前年同月比11.9%増）となり、24カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は67万2,700人（同9.6%増）となり24カ月連続で前年を上回った。海路は1万5,300人（同992.9%増）となり15カ月連続で前年を上回った。
- 修学旅行シーズンで団体客が増加したほか、沖縄大交易会などの各種イベント等により好調に推移した。

(2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は3カ月ぶりに減少、外国客は14カ月連続で増加



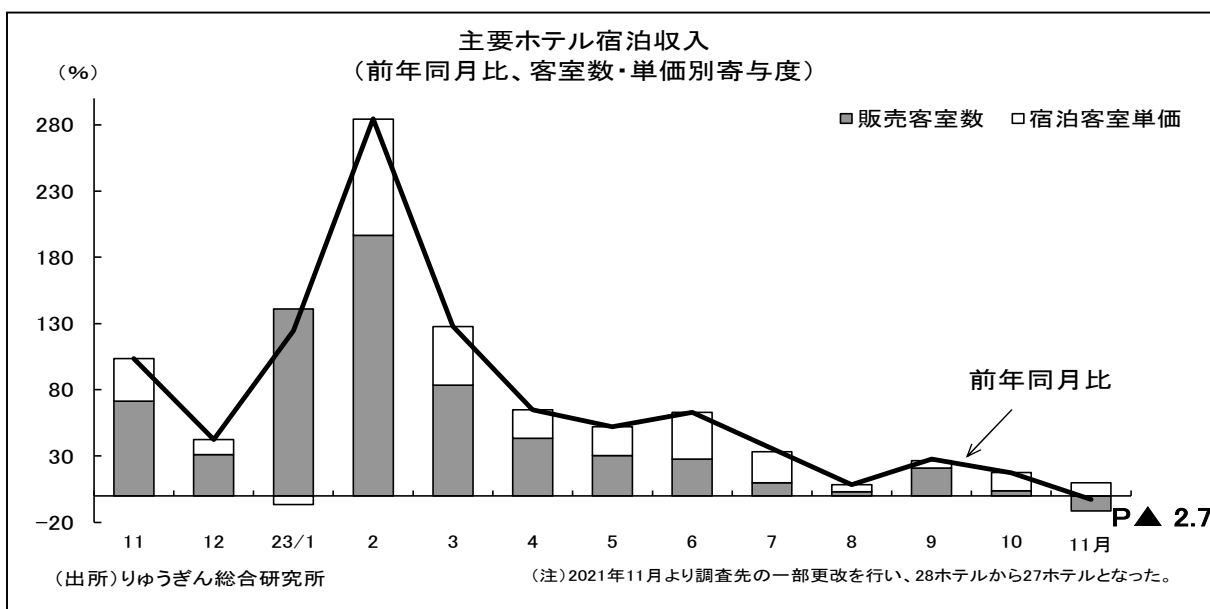
- 国内客は、59万7,100人（前年同月比1.0%減）となり、3カ月ぶりに前年を下回った。外国客は9万900人（同651.2%増）となり、14カ月連続で増加した。
- 国内は前年の全国旅行支援の反動等があり前年をやや下回ったが、外国客は引き続き訪日意欲高く好調に推移した。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率、売上高ともに24カ月ぶりに減少



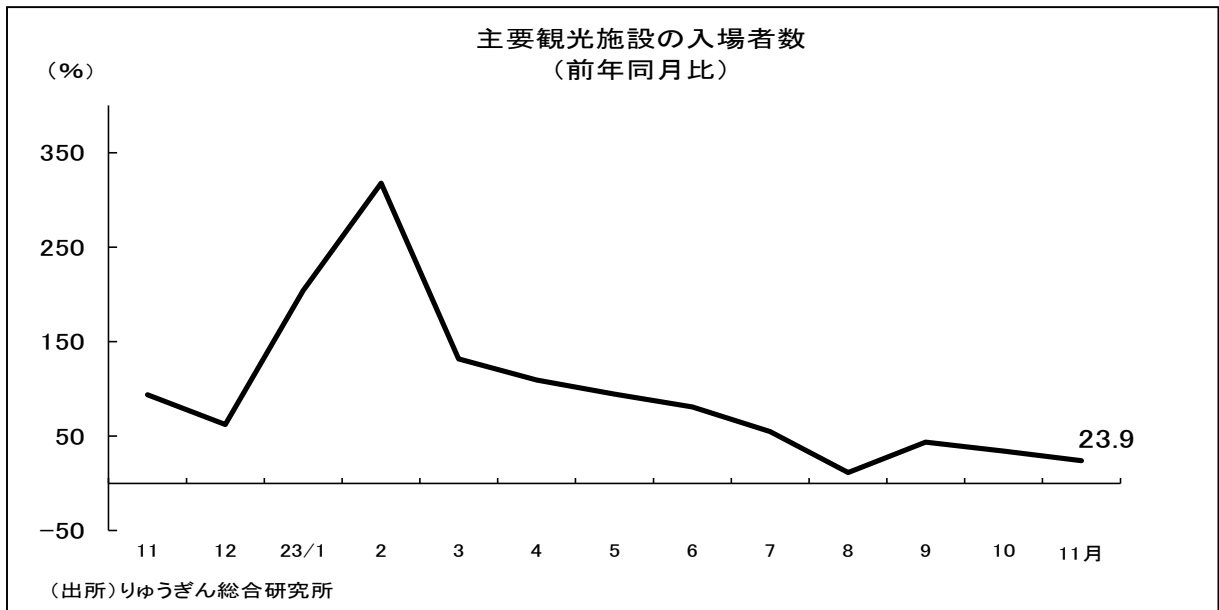
- ・ 主要ホテル（速報値）は、客室稼働率は57.4%と前年同月差7.3%ポイント減少、売上高は前年同月比2.4%減となり、稼働率、売上高ともに24カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 那覇市内ホテル（速報値）の客室稼働率は57.8%と同13.5%ポイント減少し、4カ月ぶりに前年を下回り、売上高は同6.1%減と24カ月ぶりに前年を下回った。リゾート型ホテル（速報値）の客室稼働率は57.3%と同5.1%ポイント減少、売上高は同1.6%減となり、稼働率、売上高ともに3カ月ぶりに前年を下回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：24カ月ぶりに減少



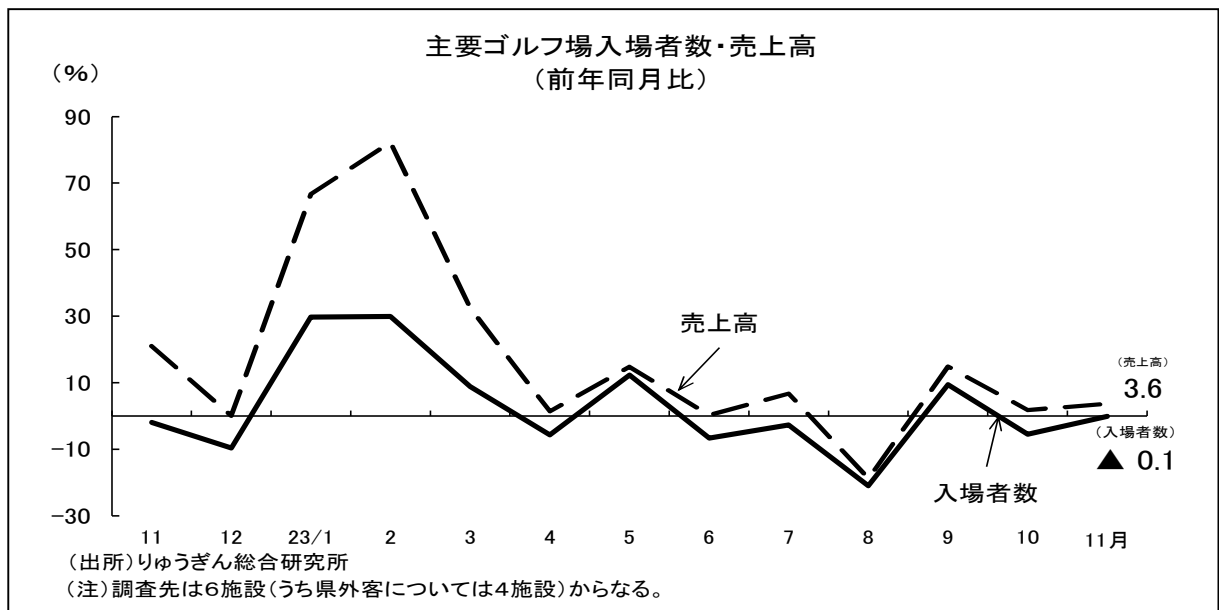
- ・ 主要ホテル売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）が減少、宿泊客室単価（価格要因）は上昇し、前年同月比2.7%減と24カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 那覇市内ホテル、リゾート型ホテルともに、販売客室数が減少、宿泊単価は上昇し、那覇市内ホテルが同12.0%減、リゾート型ホテルが同0.4%減となり、24カ月ぶりに前年を下回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：21 カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数は、前年同月比 23.9%増と 21 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 修学旅行や一般団体客が増加したほか、外国客の利用もみられた。

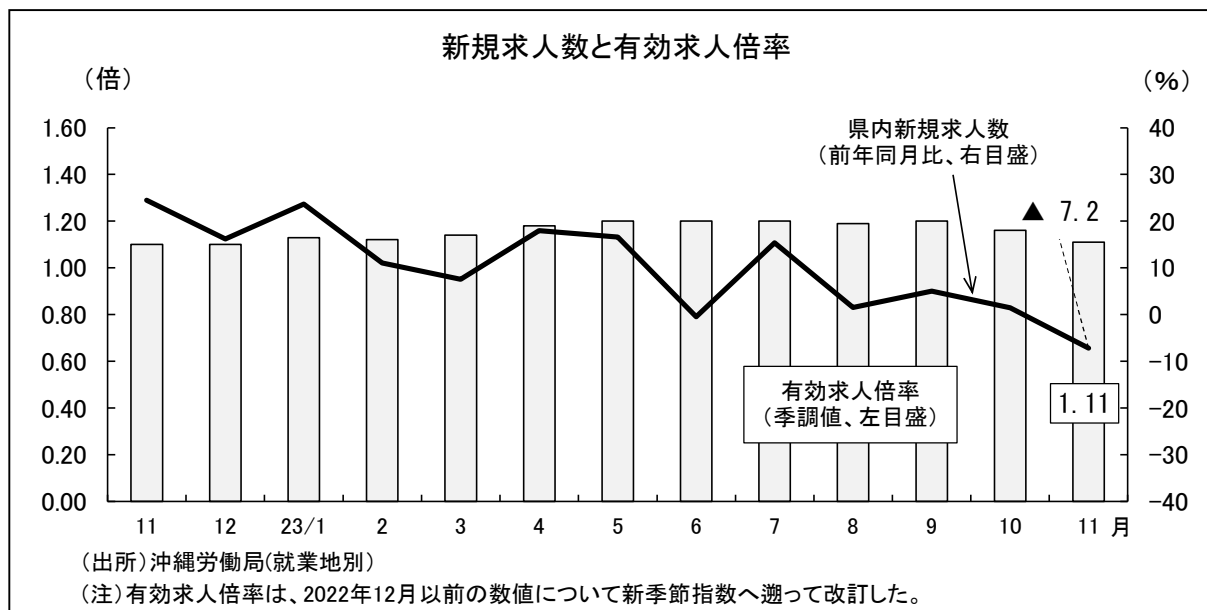
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数2 カ月連続で減少、売上高3 カ月連続で増加



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 0.1%減と 2 カ月連続で前年を下回った。県内客は 2 カ月ぶりに前年を上回り、県外客は 2 カ月連続で前年を下回った。売上高は同 3.6%増と 3 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 入場者数は減少したものの、平日のレストラン利用やコンペ開催後の懇親会等が増加し、売上向上に寄与した。

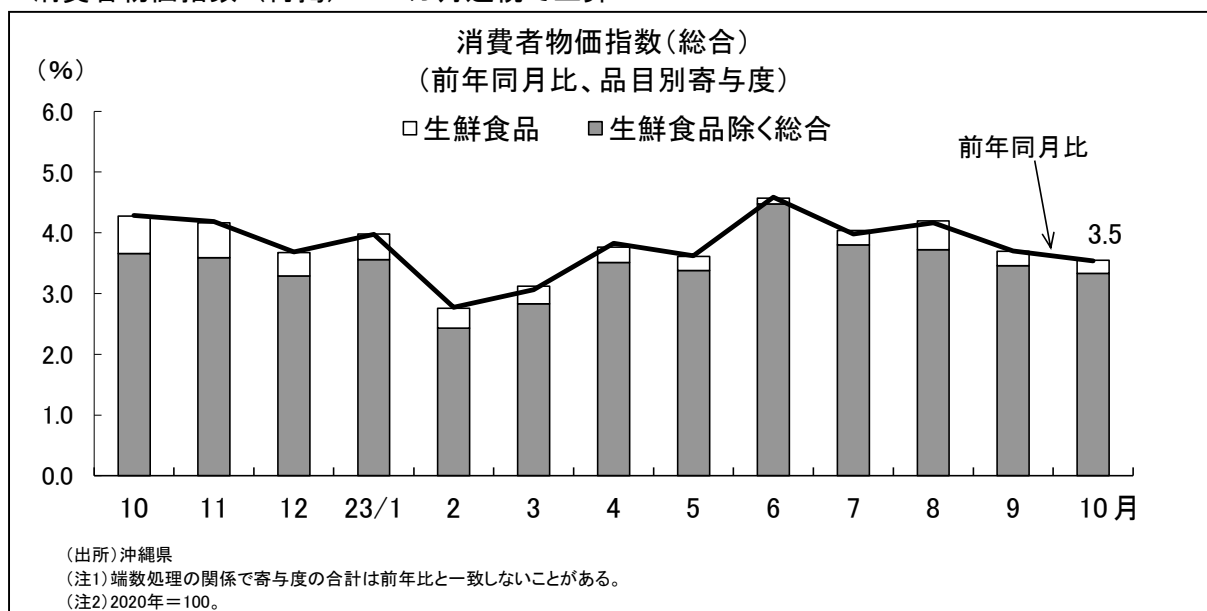
4. その他

(1) 雇用関連：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は低下



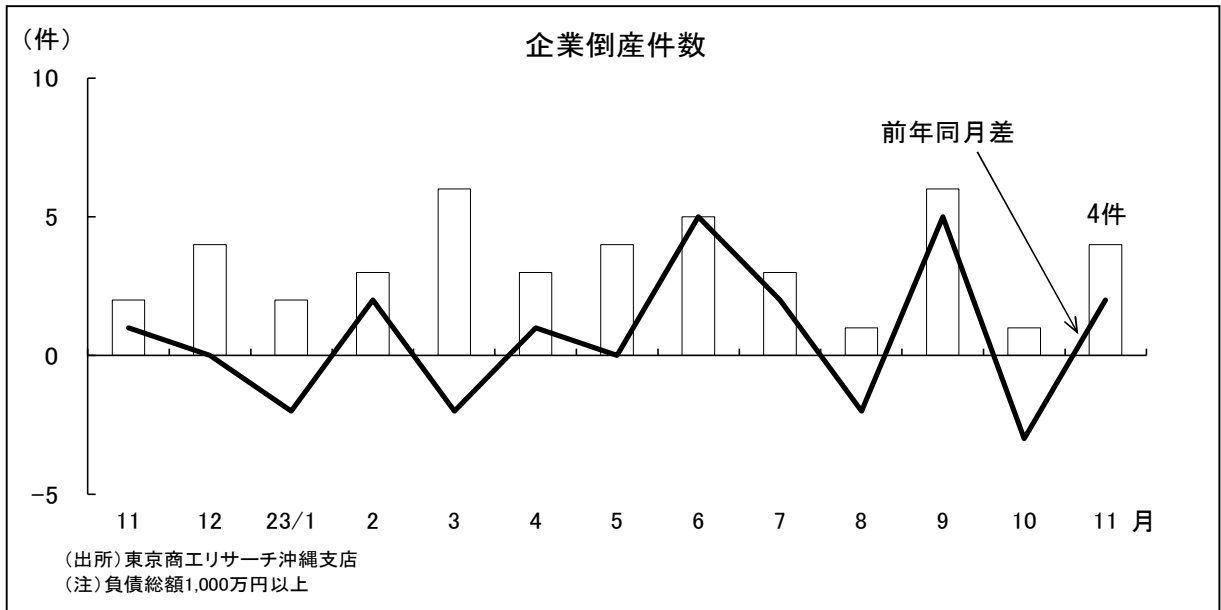
- 新規求人数は、前年同月比 7.2%減と5カ月ぶりに前年を下回った。産業別では、製造業、卸売業・小売業では増加したものの、サービス業（他に分類されないもの）、運輸業・郵便業などで減少した。有効求人倍率（季調値）は1.11倍で、前月より0.05ポイント低下した。
- 労働力人口は、79万5,000人で同2.8%増となり、就業者数は、77万2,000人で同3.1%増となった。完全失業者数は2万3,000人で同4.2%減となり、完全失業率（季調値）は3.2%と、前月より0.2ポイント低下した。

(2) 消費者物価指数（再掲）：26カ月連続で上昇



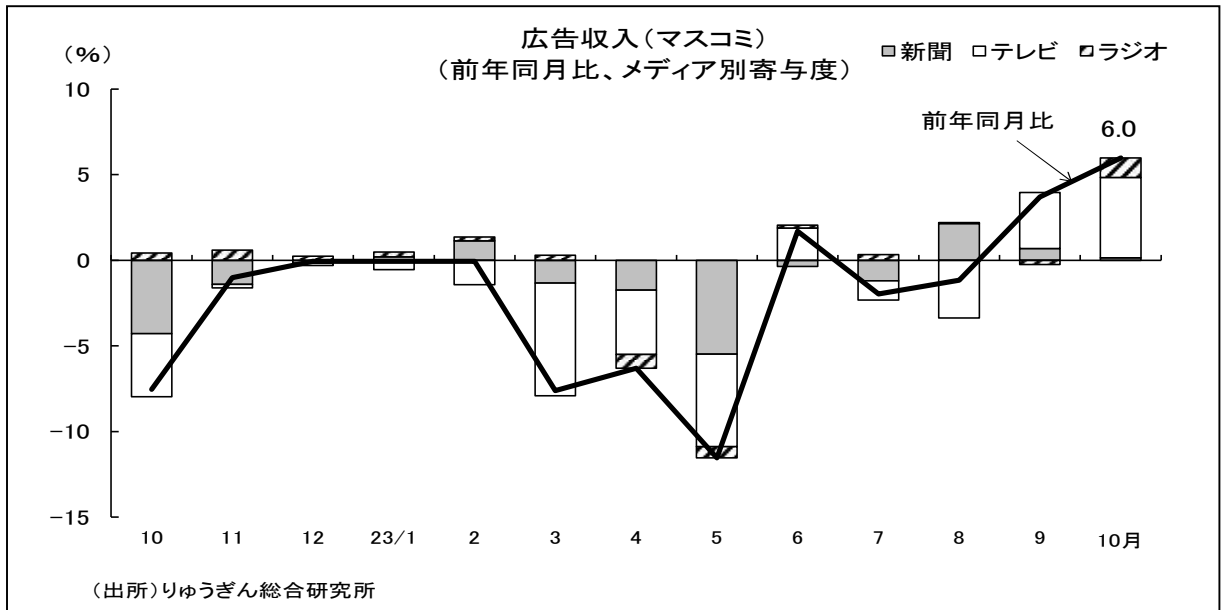
- 消費者物価指（10月）は、前年同月比 3.5%の上昇となり、26カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同3.5%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同4.4%の上昇となった。
- 費目別の動きをみると、食料、家具・家事用品などで上昇し、光熱・水道などで下落した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額ともに増加



- 倒産件数は、4件で前年同月から2件増加した。業種別では、農・林・漁・鉱業1件、建設業1件、サービス業2件となった。
- 負債総額は2億3,900万円で、前年同月比218.7%増となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：2カ月連続で増加



- 広告収入（マスコミ：10月）は、前年同月比6.0%増と2カ月連続で前年を上回った。
- 前年は世界のウチナンチュ大会があり関連広告の剥落はあったものの、那覇大綱挽が4年ぶりに通常開催されるなどイベント協賛広告などが増加した。

沖縄県内の主要経済指標……………17

〃 金融統計……………19

沖縄県内の主要経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2020	▲ 35.1	0.4	2.5	5.6	▲ 17.1	0.5	308,119	▲ 5.6	1,555	▲ 15.9
2021	▲ 7.9	▲ 1.7	▲ 0.2	21.2	▲ 11.0	1.7	344,381	11.8	1,571	1.0
2022	5.2	2.0	2.5	1.3	▲ 1.2	▲ 7.9	340,357	▲ 1.2	1,519	▲ 3.3
2022 10	▲ 0.3	2.3	2.7	▲ 1.8	21.7	▲ 5.9	29,678	11.1	142	▲ 29.1
11	0.4	4.5	4.9	0.0	11.4	▲ 1.3	17,120	▲ 22.1	168	31.9
12	▲ 0.3	7.1	6.5	1.0	26.0	▲ 2.6	11,214	▲ 37.6	135	▲ 1.3
2023 1	24.8	3.7	4.2	▲ 3.6	32.8	▲ 1.8	11,114	▲ 58.6	97	▲ 20.7
2	16.7	3.4	3.9	▲ 5.0	45.9	2.4	59,359	141.8	99	21.0
3	4.9	5.5	6.5	▲ 1.7	18.6	3.7	84,927	54.9	80	▲ 48.7
4	13.2	6.1	7.2	▲ 7.5	23.7	3.0	17,663	6.4	111	▲ 14.7
5	10.6	7.1	8.4	▲ 3.5	69.8	8.5	14,118	2.8	115	▲ 14.8
6	▲ 3.0	3.1	3.6	▲ 10.4	36.3	4.2	22,582	▲ 55.0	159	27.8
7	8.1	9.4	8.3	▲ 0.8	1.9	4.9	44,353	68.0	99	5.0
8	8.8	8.6	7.6	11.8	3.2	▲ 13.3	26,976	▲ 32.3	97	▲ 15.3
9	8.5	6.8	7.5	6.6	19.5	14.5	73,429	150.2	107	▲ 7.5
10	11.8	6.6	6.9	3.5	15.1	8.2	22,851	▲ 23.0	145	2.4
11	5.3	5.1	5.4	-	6.1	3.5	30,627	78.9	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 2022年4月より家電卸販売額から家電大型専門店販売額へと更改した。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2020	10,703	▲ 29.1	3.3	▲ 10.0	▲ 10.4	▲ 11.6	▲ 11.6	▲ 72.1	▲ 7.6	▲ 15.7
2021	9,668	▲ 9.7	▲ 8.4	▲ 15.4	▲ 21.1	▲ 6.0	3.1	▲ 41.0	8.6	3.9
2022	9,179	▲ 5.1	21.0	▲ 1.3	0.5	10.0	9.0	134.1	4.7	▲ 2.9
2022 10	648	▲ 27.8	47.2	1.5	1.3	13.6	▲ 9.3	160.3	5.5	▲ 7.7
11	777	▲ 11.9	22.0	▲ 1.9	0.4	▲ 7.8	16.8	93.8	▲ 1.9	▲ 1.0
12	1,027	10.3	1.9	▲ 3.8	▲ 3.6	▲ 15.0	1.4	62.2	▲ 9.6	▲ 0.1
2023 1	895	41.4	157.9	▲ 6.0	▲ 0.2	▲ 12.5	1.5	203.7	29.7	▲ 0.1
2	657	21.2	98.7	▲ 1.7	3.6	▲ 5.0	▲ 10.9	317.5	29.9	▲ 0.1
3	670	▲ 10.9	▲ 25.9	▲ 6.8	▲ 1.1	20.2	3.2	131.9	8.9	▲ 7.6
4	733	▲ 25.2	▲ 91.5	▲ 0.6	▲ 11.4	▲ 0.3	▲ 1.3	109.3	▲ 5.6	▲ 6.3
5	768	▲ 8.0	▲ 57.4	27.4	20.8	8.8	▲ 14.2	94.4	12.3	▲ 11.5
6	1,213	62.6	18.6	▲ 10.0	▲ 9.8	22.1	1.3	80.7	▲ 6.6	1.7
7	924	26.4	80.6	3.6	▲ 1.1	13.5	▲ 7.7	54.7	▲ 2.7	▲ 2.0
8	847	4.6	713.2	▲ 15.5	▲ 24.8	8.9	▲ 19.2	11.2	▲ 21.0	▲ 1.2
9	845	21.1	32.5	18.5	20.0	P30.4	7.2	P43.5	9.4	3.7
10	747	15.3	▲ 6.4	10.9	4.9	P14.1	8.6	34.2	▲ 5.5	6.0
11	-	-	50.7	6.4	14.4	P35.5	▲ 0.5	23.9	▲ 0.1	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2022年12月より調査先17社のうち、一部更改を行った。

注) ゴルフ場入場者数は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		鉱工業生産指数(季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2015年=100	前年比
2020	3,736.6	▲ 63.2	256.9	▲ 91.2	31.7	31.6	▲ 65.2	▲ 58.8	76.0	12.9
2021	3,016.7	▲ 19.3	0.0	▲ 100.0	24.3	22.2	▲ 30.4	▲ 20.0	-	-
2022	5,697.8	88.9	47.7	100.0	46.9	43.4	92.9	104.3	-	-
2022 10	630.7	110.9	2.7	100.0	57.5	62.0	173.2	152.5	72.1	▲ 5.0
11	615.0	67.1	12.1	100.0	68.9	61.7	114.1	86.3	68.0	▲ 9.0
12	635.0	49.9	32.8	100.0	64.9	56.0	39.8	32.1	70.3	16.9
2023 1	532.2	137.0	44.8	100.0	55.9	44.0	156.0	113.6	75.0	▲ 1.6
2	597.9	233.6	43.4	100.0	70.9	58.5	214.5	262.7	75.6	2.6
3	766.2	84.3	64.2	100.0	62.8	55.2	89.2	84.7	77.3	0.4
4	669.9	63.8	66.8	100.0	53.8	55.9	58.8	62.2	72.0	▲ 11.4
5	645.3	62.6	70.0	100.0	46.6	50.6	27.3	53.2	72.8	2.8
6	663.4	47.9	77.7	100.0	55.5	55.4	52.3	51.6	72.9	▲ 0.4
7	778.5	28.1	114.9	100.0	55.1	65.5	28.8	31.3	70.4	0.3
8	728.6	13.7	96.4	96,300.0	50.3	55.5	39.0	▲ 0.5	68.8	▲ 0.5
9	710.1	43.5	106.6	100.0	56.5	55.0	33.0	23.6	78.7	7.8
10	788.4	25.0	115.5	4,177.8	60.8	64.9	18.4	13.1	-	-
11	688.0	11.9	90.9	651.2	P57.8	P57.3	P▲6.1	P▲1.6	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2021年11月より調査先が28ホテルから27ホテルとした。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	通関輸出	通関輸入
		百万円	前年比							
2020	34	3,640	▲ 36.3	▲ 0.3	3.3	0.1	0.90	▲ 27.2	30,063	120,799
2021	38	10,989	201.9	0.0	3.7	0.4	0.80	0.7	44,890	126,238
2022	34	6,120	▲ 44.3	2.8	3.2	2.1	0.98	22.5	75,417	302,815
2022 10	4	816	88.0	4.3	2.7	3.6	1.07	22.2	2,300	22,508
11	2	75	▲ 76.6	4.2	3.5	1.2	1.10	24.5	8,149	25,351
12	4	617	▲ 65.8	3.7	3.6	2.1	1.10	16.1	6,131	51,763
2023 1	2	128	▲ 95.5	4.0	2.8	0.9	1.13	23.7	1,061	17,031
2	3	430	4,200.0	2.8	3.5	1.6	1.12	11.0	1,870	12,347
3	6	145	▲ 84.5	3.1	3.9	0.1	1.14	7.5	5,927	25,429
4	3	294	72.9	3.8	4.0	0.0	1.18	18.0	24,678	21,830
5	4	689	474.2	3.6	3.7	1.1	1.20	16.6	1,147	10,583
6	5	225	100.0	4.6	3.0	2.4	1.20	▲ 0.5	1,429	20,164
7	3	147	56.4	4.0	2.5	3.9	1.20	15.4	1,943	47,767
8	1	20	▲ 94.8	4.2	4.0	0.5	1.19	1.5	1,326	36,444
9	6	771	828.9	3.7	3.4	0.9	1.20	5.0	2,555	15,641
10	1	200	▲ 75.5	3.5	3.4	3.7	1.16	1.4	1,620	17,430
11	4	239	218.7	-	3.2	3.1	1.11	▲ 7.2	7,894	50,581
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2022年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の金融統計

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2020FY	3,019	2,812	206	1.399	165	▲ 13.1	3,016	▲ 10.8	7	0.002
2021FY	2,825	2,906	▲ 80	1.356	150	▲ 9.0	2,720	▲ 9.8	106	0.039
2022FY	2,581	3,453	▲ 869	1.332	-	-	-	-	-	-
2022 10	170	280	▲ 110	1.337	11	4.6	183	▲ 0.6	0	0.000
11	206	295	▲ 88	1.333	-	-	-	-	-	-
12	432	199	232	1.332	-	-	-	-	-	-
2023 1	144	417	▲ 272	1.331	-	-	-	-	-	-
2	178	306	▲ 128	1.328	-	-	-	-	-	-
3	202	352	▲ 149	1.324	-	-	-	-	-	-
4	271	241	30	1.332	-	-	-	-	-	-
5	155	419	▲ 264	1.333	-	-	-	-	-	-
6	187	286	▲ 98	1.329	-	-	-	-	-	-
7	196	279	▲ 83	1.325	-	-	-	-	-	-
8	246	364	▲ 117	1.325	-	-	-	-	-	-
9	167	418	▲ 251	1.325	-	-	-	-	-	-
10	209	323	▲ 113	1.327	-	-	-	-	-	-
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

注) 手形交換所は2022年11月に業務終了した。

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)		県内金融機関 の預金残高 (末残)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2020FY	55,734	11.6	40,847	4.0	56,384	12.0	10,320	19.4	2,865	133.8
2021FY	58,037	4.1	41,033	0.5	58,716	4.1	10,428	1.0	3,005	4.9
2022FY	60,065	3.5	41,959	2.3	60,834	3.6	10,667	2.3	3,006	0.0
2022 10	59,879	4.2	41,162	0.4	60,544	4.2	10,713	1.9	2,995	▲ 0.1
11	59,832	3.7	41,268	1.4	60,547	3.9	10,744	2.4	2,990	▲ 0.2
12	59,865	3.9	41,442	0.6	60,609	3.9	10,736	2.5	2,998	▲ 0.1
2023 1	59,447	3.2	41,466	1.6	60,153	3.2	10,733	2.7	3,002	0.0
2	59,542	3.3	41,654	2.1	60,217	3.4	10,727	2.7	2,996	▲ 0.1
3	60,065	3.5	41,959	2.3	60,834	3.6	10,667	2.3	3,006	0.0
4	61,161	2.5	41,478	2.0	61,863	2.6	10,618	1.3	2,987	0.1
5	61,098	2.7	41,518	1.5	61,841	2.8	10,569	1.2	2,977	▲ 0.1
6	61,274	2.0	41,570	1.6	62,029	2.1	10,501	0.7	2,971	▲ 0.1
7	61,590	2.2	41,630	1.6	62,316	2.3	10,465	1.2	2,969	▲ 0.3
8	61,531	2.4	41,559	1.3	62,275	2.4	10,287	▲ 3.7	2,964	▲ 0.5
9	61,480	2.8	41,799	1.3	62,215	2.8	10,238	▲ 4.6	2,961	▲ 0.7
10	61,174	2.2	41,641	1.2	61,897	2.2	10,321	▲ 3.7	2,953	▲ 1.4
11	61,242	2.4	41,766	1.2	-	-	-	-	2,954	▲ 1.2
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行本店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。